

中間とりまとめにおける「具体的課題への対応」に係る追加論点

1. 「ご当地ナンバー」拡充要望への対応

- 地域名表示のあり方を抜本的に見直すとしても、それまでには相当程度の期間を要することとなり、各地での早期のご当地ナンバー拡大を求める強い要請に応えることが困難であることから、まずは、現行の地域名表示のあり方を前提として対応を図るべきではないか。
- 現行の地域名表示のあり方を前提として、ご当地ナンバーの拡大を考える場合、前回の導入時の基準を基にしつつ、以下のような要件を課した上で公募することとしてはどうか。また、公募に当たっては、地域住民の同意を前提に対象地域の市町村からの要望を踏まえた都道府県の提案によることとしてはどうか。
 - (1) 対象地域
 - ・ 地域特性等で一定のまとまりのある地域（原則、複数市町村）
 - ・ 登録されている自動車の数が10万台を超えていること（対象地域の全部が離島である場合を除く。）
 - ・ 自動車登録手続の利便性の向上の施策であるOSSを導入している又は導入の具体的な計画があること
 - (2) 地域名の基準
 - ・ 行政区画や旧国名などの地理的名称
 - ・ 漢字2文字を原則とし、最大4文字以内（ローマ字は不可）

2. 「希望ナンバー制」への対応

- 分類番号の一部へアルファベットを導入するとしても、それには一定の時間を要することとなることから、移行までの間に特定の番号が枯渇することを回避するため、導入までの暫定的な措置として、特定の抽選対象番号の払い出し数の絞り込み（週1回の抽選を2週に1回とする等）を行うことも考えるべきではないか。
- 分類番号の一部へのアルファベットの導入以外に、平仮名等の部分には、既に「Yナンバー」等、アルファベットを使っている実績があり、当該部分でのアルファベットの使用を拡大し、希望ナンバーの枯渇に対応することも考えるべきではないか。

3. 視認性の向上と多様なニーズへの対応の両立

- 文字体の統一化や図柄等の許容は、現行のナンバープレートの形状と表示事項を前提としても行うべきか。あるいは形状や表示事項の見直しと一体的に措置すべきか。